

令和6年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業 綾瀬市



研究テーマ 9年間を見通した豊かな学びを目指して

～授業スタイル（振り返り）と家庭学習の充実の共通化を通して～



【課題】（全国学力・学習状況調査の結果から）
○記述式・無回答率が高いことと関連し、「書くこと（書く力）」の正答率が低い
○自分で計画を立てて学習する（主体的な学び）

綾北中学校

持続可能な社会に向けた価値観を持った生徒の育成

～ESDに重点を置いた指導の改善を図る～

（宮城教育大学名誉教授・日本ESD学会会長：見上 一幸 先生）

【現状】（全国学力・学習状況調査の結果から）
○テレビゲームの時間が多い
○携帯電話・スマートフォンの利用時間が多い
○家庭学習の時間が少ない（二極化傾向を含む）

綾瀬小学校

自分ごととしてとらえ、表現できる子の育成
～地域のひと・もの・ことと関わる単元づくり～
（市教育委員会指導主事）

寺尾小学校

主体的に向き合い、ともに学ぶ子
～互いを認め合い、
よさを感じながら学びをつくる授業を通して～
（横浜国立大学教授：池田 敏和 先生 他）

綾北小学校

生き生きと学び合う子
～他教科に生きる国語科の学習を目指して
（県教育委員会子ども教育支援課：安齋 友貴 指導主事）

天台小学校

学びを楽しむ子をめざして
～児童が資質・能力を身につけるための
単元づくり・課題づくりを通して～
（横浜国立大学非常勤講師：白井 達夫 先生）

綾瀬市型小中一貫教育の推進 （綾瀬市型小中一貫教育推進連絡協議会）

あ：あやせ型授業モデルの実践

☞授業には「めあて」と「振り返り」

や：やってみよう！家庭学習！

☞授業の振り返りを生かした家庭学習

せ：先生はチーム綾瀬を意識！

☞中学校区毎に交流会・校内研究への参加

かながわ学びづくり 実践研究推進校担当者会

北の台小学校

すすんで学び合う子の育成をめざして
～「聴いて、考えて、伝え合う」力を～
（横浜国立大学非常勤講師：白井 達夫 先生）

北の台中学校

主体的、創造的に生きる生徒の育成
～知的好奇心を育む協働学習を通して、
学ぶ楽しさ・面白さを実感できる授業づくり～
（横浜国立大学非常勤講師：白井 達夫 先生）

今年度も、綾瀬市型小中一貫教育の推進と連携を図りながら、授業スタイルの共通化、家庭学習の充実（習慣化）、小中学校間の教員の交流を柱としながら、各校の校内研究を充実させることを通して児童・生徒の学力の向上を図ってきました。この取り組みをさらに市内全校に広めて、綾瀬市全体で足並みをそろえた推進に努めています。